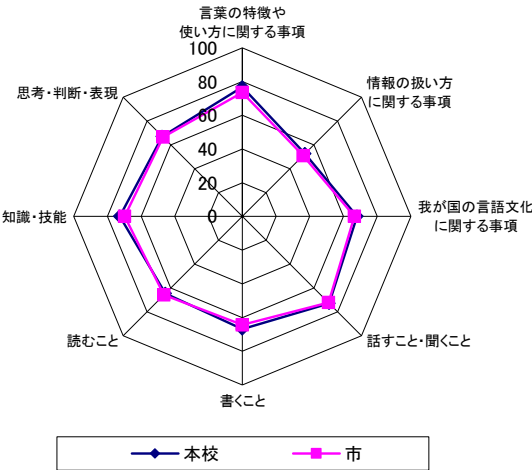


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.8	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	52.6	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	68.0	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	72.9	72.3	73.7
	書くこと	66.8	64.3	66.6
	読むこと	64.6	65.8	64.9
観点別	知識・技能	72.7	69.8	70.8
	思考・判断・表現	67.1	66.5	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	正答率は市平均を上回る。(＋3.3ポイント) ○三語の熟語の成り立ちについての正答率は73.2ポイントで、市平均を上回る。(＋4.6ポイント) ●漢字の読みの正答率が高いものの漢字の書きの正答率は低い。 ●敬語について理解し正しく使う問題の正答率は、市平均を13.9ポイント上回るが、36.1%と低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の読み書きを学習する際、言葉の使い方を意識しながら練習させる。 ・敬語を正しく使い分けられるように、授業だけでなく日々の生活の中でも指導していく。
情報の扱い方 に関する事項	正答率は市平均をポイントをやや上回る。(＋1.6ポイント) ○情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書くことができています。 ●段落相互の関係を捉え、情報を整理することに課題が見られる。	・段落と段落の関係が正しく捉えられるよう指導し、情報を正しく読み取ったりしたことを簡潔に表現する場を設けていく。
我が国の言語文化 に関する事項	正答率は市平均をやや上回る。(＋1.5ポイント) ●正答率は68.0%と低く、和語・漢語・外来語を理解することに課題がある。	・語句の由来に関心をもたせ、和語・漢語・外来語について理解できるように指導していく。
話すこと・聞くこと	正答率は市平均と同程度である。(＋0.6ポイント) ○話の内容を捉えたり、意図に応じて質問を工夫する問題の正答率は市平均をやや上回っており、良好な状況が見られる。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える問題の正答率は42.3%で、市の平均を下回っている。(－4ポイント)	・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるように、必要なことを記録したり、質問したりしながら聞く機会を設ける。
書くこと	正答率は市平均をやや上回る。(＋1.5ポイント) ○多くの設問で正答率は市平均をやや上回っており、書くことの領域全般において、概ね良好な状況が見られる。 ●予想される反論と、それに対する自分の考えを具体的に書く問題の正答率は44.3%で、市の平均を下回る。(－2.8ポイント)	・国語の学習だけでなく、各教科で自分の考えをもち、その意見に反論された場合も、自分の意見を論理的に述べられるような具体的な場面を設ける。 ・各教科で、理由を明確にして自分の考えを書く機会を増やす。
読むこと	正答率は市平均をやや下回る。(－1.2ポイント) ○文章を読んで、物語の全体の内容を捉えることはできている。 ●登場人物の会話に隠れている心情や人物像を捉えることに課題が見られる。	・語彙力を高めたり、背景の描写に気をつけて読み取ったりすることで、人物像や心情を捉えられるようにする。